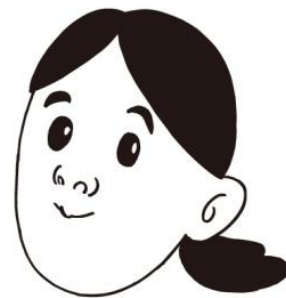


みずま雪絵の 区議会レポート

NO.14 2017/4



〒125-0063 葛飾区白鳥3-25-7 コーポ坂上302

TEL 03-6662-7623

FAX 03-6662-7617

e-mail info@mizuma-yukie.org

HP http://mizuma-yukie.org

第1回定例会 2/15~3/27

2017年度予算に対して

年々、増え続けている一般会計当初予算ですが、2017年度予算は過去最大規模の1906億1千万円が計上されました。みずま雪絵は今回の予算案には反対をしました。

「丁寧な合意形成」とは

一般会計予算反対の理由に、まず立石駅周辺再開発事業における合意形成の図り方に問題があると考えたからです。当該の北口地区は2017年度中の都市計画決定が予定されていますが、



現在、地域住民・地権者から公聴会の実施が要望されています。しかし、これに対し区は「行なう必要がない」としているのです。今まで、区は議会に立石駅北口地区再開発について「住民との合意形成を丁寧に行なっていく」と報告してきています。駅前の再開発ビルに総合庁舎が入る予定にされていることや、総事業費が膨らんでいること等、再開発後の立石地区や生活を心配する地権者や地域住民がいます。

各会計予算に対する賛否	自民	公明	共産	政葛	民進	無所属	無所属	無所属	みずま	無所属
平成29年度葛飾区一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
平成29年度葛飾区国民健康保険事業特別会計予算	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○
平成29年度葛飾区後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○
平成29年度葛飾区介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成29年度葛飾区駐車場事業特別会計予算	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○

暮らしの変化に不安を抱える住民からの要望を切り捨てることは、丁寧な合意形成とは言えません。庁舎整備の費用も当該再開発地区に移転となれば、膨らんでいく可能性があります。

次に、**個人番号カード交付事業経費等、マイナンバーに関わる経費**において、さらに区財政への負担が増すことです。法定受託事務である個人番号制度ですが、今まで区はシステム改修やセキュリティ対策、関係する物品購入等で大きな財政負担をさせられてきています。区の財政負担に対し、国からの補助金が少なく、区が自腹を切っているのです。今後もこの負担は膨らむとみられます。そして、個人番号制度によって監視社会へ繋がる危険性については、国も認めているものです。情報漏洩による不利益を被る危険性もあり、制度自体の問題が大きいと考えます。

保育園民営化に見える矛盾

次に、**職員数**についての行財政改革の方向性です。公立保育園の民営化等により、区の正規職員の削減を行なう方針です。私はこの行財政改革の方向性が、結果的に区民サービスにプラスに作用しているか疑問があります。例えば、公立保育園が民営化された後、経営する事業者には利益が出づらくなったとき、人件費が抑制されやすく、働く人の低賃金に繋がりがやすくなります。低賃金は人材確保・定着を困難にさせ、“保育士不足”の重要な要因の一つになっています。

葛飾区は2017年度、保育人材確保支援を拡大するとして保育士等への住宅手当支援や、潜在保育士等就職支援など新たに手を打ち、人材確保を行なうとしています。行財政改革の保育園民営化と、人材確保事業拡大は矛盾しているといえないでしょうか。

民営化は利益を出すことが求められるものによって変わるといえることです。昨今の子育て支援施設の認定取り消し等のニュースからも見て取れるように、利益が出づらくなれば、サービス自体にしわ寄せがくる可能性があります。行政が税で行なう事業は「儲ける」ことに不向きであるから公的責任で運営されてきたのではないのでしょうか。区民の暮らしに密着した事業に対し、事業者の経営状況によってサービスが左右される可能性があることには賛成できません。

限りある財源ですから、歳出を抑えるという考えは必要です。また、区内に銅像を建てることや、駅前にイルミネーションをすること、様々なイベントを行なうことも、地域の活性化には寄与しているのかもしれませんが、区民から等しく徴収される税の使われ方として、優先順位を考える必要があるのではないのでしょうか。

自己負担が強まる特別会計

国民健康保険事業特別会計は保険料の引き上げがあります。保険料の2割軽減、5割軽減の軽減判定基準の引き上げがされ、若干の低所得者への配慮が見られますが、その網にかからない世帯は負担が増します。例えば給与所得者(65歳未満)年収300万円の3人世帯だと、298,437円(前年度比+18,645円)となります。保険料を引き上げ続けることは、生活の疲弊を加速させることになるので反対しました。一般会計から繰り入れ、保険料の引き上げを抑制すべきです。

介護保険事業特別会計・後期高齢者医療事業特別会計は保険料と自己負担率が増え続けています。介護保険制度では要支援者の訪問介護・通所介護を保険から外し、自治体の事業に移行することで報酬がさがり、事業者の収入減少に繋がってしまいます。介護サービス抑制や自己負担増、事業者の疲弊増することに舵をきり続ければ、介護を社会全体で支えるためと導入された介護保険制度は、自己責任・自己負担の制度となり、社会全体で支える制度とは言い難いものになってしまいます。後期高齢者医療事業特別会計においても、同様に自己負担を増やす方向です。

区は制度の運営自治体として、また、区民の高齢者福祉の公的責任を果たすためにも、区で行なえる保険料引き上げ抑制と、サービス抑制・自己負担増の制度「見直し」をする国に対して、公的責任を問い、税を投入することを求めることが必要ではないでしょうか。

賛否が分かれた主な議案 (議案はいずれも可決)	自民	公明	共産	政 葛	民進	無所属	無所属	無所属	みずま	無所属
平成28年度葛飾区一般会計補正予算 (第4号)	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○
葛飾区個人番号の利用及び特定個人情報 の提供に関する条例の一部を改正 する条例	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○
葛飾区立図書館設置条例の一部を改 正する条例	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○
葛飾区議会議員の議員報酬及び費用 弁償等に関する条例の一部を改正する 条例 (議員提出議案)	×	×	○	×	×	○	○	○	○	×

補正予算 15 億円の積み立て 基本構想に違和感

平成 28 年度葛飾区一般会計補正予算 (第 4 号) には、総合庁舎整備基金の積み立て 15 億円が計上されていました。総合庁舎整備基本構想が立石駅北口再開発と一体的であり、

再開発の住民合意に対する区の姿勢に問題があること、また、行財政改革で様々な区民サービスのコスト削減を行なってきた区のスタンスを考えると基本構想に違和感があることから、反対しました。総合庁舎整備基本構想では立石駅北口地区に移転する案が第一候補とされています。将来の総合庁舎建て替えについては、基本構想に一番費用を抑えられると示されていることから、現庁舎のある敷地で行なうのが適切と考えています。バスロータリーがあり、交通の利便性も立石駅北口地区に比べ格段に劣ると思いません。基本構想の中で、費用が膨らむ可能性があるにも関わらず、立石駅北口地区が一番いいとすることに違和感があります。

個人番号 利用事務拡大

「葛飾区個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例」は個人番号を利用できる事務を拡大するものです。監視社会に繋がる制度であることから、個人番号制度の自治体での利用事務拡大も行なうべきでないと考え反対しました。

赤十字産院の移転建て替え 区立新宿図書館センター休館

立石5丁目にある赤十字産院が新宿図書館センター敷地、道路補修課敷地への移転建て替えを行ないます。当産院は老朽化や狭隘の問題がありましたが、現産院の敷地での建て替えでは敷地面積の制限、診療の制限がされることから断念したとのことです。区の提案から、新宿図書館センター敷地、道路補修課敷地への移転建て替えが決まり、昨年、基本協定を締結しました。

「葛飾区立図書館設置条例の一部を改正する条例」は、移転先にある区立新宿図書館センターを2017年10月1日から休館にするというものです。区の母子医療を支える病院の建て替え、敷地面積の確保をするために、やむを得ないと判断し賛成しました。

図書館機能は建て替え後、赤十字産院の敷地内に確保するとのことです。休館の間は、新宿憩い交流館に、臨時の図書サービスコーナーが設置されます。(11月1日～)

☆みずま雪絵プロフィール…1984年葛飾区生まれ、区立上千葉小学校・区立青葉中学校卒。都立墨田川堤高校卒。東京福祉専門学校卒業後、葛飾区内の介護老人保健施設・訪問介護事業所で約10年介護現場に従事。

2013年～葛飾区議会議員（現在1期目）

区政/生活/労働 etc お気軽にご相談下さい。

また、ご意見もお待ちしております。

問い合わせは、みずま事務所 TEL・FAX・メールからお願い致します。